

# 日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)の概要

別紙

## <日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)>

SDGs 17の目標のどれに結び  
ついているのか  
(参考:GSTC-D)

カテゴリー (大)

カテゴリー (小)

「日本版持続可能な観光ガイド  
ライン (JSTS-D)」本文

考え方:「日本版持続可能な観  
光ガイドライン (JSTS-  
D)」各項目の解釈、なぜこの  
項目に取り組むことが重要で  
あるのかの示唆

参考資料:「日本版持続可能な  
観光ガイドライン (JSTS-  
D)」が求めているデータ、  
エビデンスの出典元の例。各  
地域でも当該欄を参考にデー  
タ、エビデンスを収集すれば  
よい

先行事例:各項目をクリアで  
きていない場合には、当該欄  
も参考に新たな施策・取組を  
始めるとよい。なお、各項目  
の内容をすでにクリアしてい  
る場合であっても、「ネクス  
トステップ」に記載の、より  
進んだ取組を行うことが望ま  
しい。

一部項目には補足情報を掲載

Japan Sustainable Tourism Standard for Destinations	
<b>SECTION B: Socio-economic sustainability 社会経済のサステナビリティ</b>	
<b>B(a) Delivering local economic benefits 地域経済への貢献</b>	
<b>B2 ディーセント・ワークと雇用機会</b> 働きがいのある人間らしい仕事(ディーセント・ワーク)と雇用機会に関する取組を行っていること	4 労働者の権利と労働条件 5 ジェンダー平等 8 働きがいと経済成長 10 人や国の不平等の解消
<b>① 観光関連事業者への就業を促進する取組があること</b> <b>② 性別、年齢、季節等に左右されない、安定した雇用や公正な賃金の実現に向けた取組を行っていること</b>	
<b>考え方</b> ・労働者の権利や男女の雇用均等に関する法律は国レベルで制定されている ・世界観光倫理憲章(UNWTO)第9条「観光産業における労働者と事業者の権利」 ・女性活躍推進法に基づき、企業におけるワーク・ライフ・バランスを推進するための認定「えるほし」(厚生労働省) <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000091025.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000091025.html</a> ・「観光分野における女性活躍推進に関する調査事業報告書」(観光庁) <a href="http://www.mlit.go.jp/kankochou/category01_000102.html">http://www.mlit.go.jp/kankochou/category01_000102.html</a>	
<b>参考資料</b> 男女別雇用者データ/男女共同参画促進に関わる政策/研修プログラム数/就職セミナーの実施回数/男女共同参画促進に関する政策/都道府県または自治体の労働安全基準の法律の整備や政策/男女別賃金データ/平等な雇用促進に関わる規定や施策	
<b>参考資料例</b> ・平成29年就業構造基本調査 結果の概要(総務省) ② <a href="https://www.stat.go.jp/data/shugyou/2017/pdf/kgaiyou.pdf">https://www.stat.go.jp/data/shugyou/2017/pdf/kgaiyou.pdf</a> ・厚生労働省賃金格差調査(厚生労働省) ② <a href="https://www.mhlw.go.jp/tokei/itiran/roudou/chingin/kouzou/2018/dl/13.pdf">https://www.mhlw.go.jp/tokei/itiran/roudou/chingin/kouzou/2018/dl/13.pdf</a> ・長野県就業促進・働き方改革 基本方針(長野県) ①、② <a href="https://www.pref.nagano.lg.jp/rodokoyo/documents/020316kihonnhoujinn.pdf">https://www.pref.nagano.lg.jp/rodokoyo/documents/020316kihonnhoujinn.pdf</a> ・和歌山県 中小企業振興条例(和歌山県) ② <a href="https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010100/reiki/reiki_honbun/k501RG00002010.html">https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010100/reiki/reiki_honbun/k501RG00002010.html</a> ・鎌倉市 男女共同参画(神奈川県鎌倉市) ② <a href="https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/jinken/index.html">https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/jinken/index.html</a> <a href="https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/jinken/kyoudousankaku/index.html">https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/jinken/kyoudousankaku/index.html</a> ・鎌倉市就業・雇用(神奈川県鎌倉市) ② <a href="https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/shuushoku/index.html">https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/shuushoku/index.html</a> ・鎌倉市 女性の就労関係(神奈川県鎌倉市) ② <a href="https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kinrou/osei.html">https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kinrou/osei.html</a> ・田辺市 女性の就業支援に関する情報(和歌山県田辺市) ② <a href="http://www.city.tanabe.lg.jp/shoukou/oseinoshuugyousienn.html">http://www.city.tanabe.lg.jp/shoukou/oseinoshuugyousienn.html</a> ・高野町男女共同参画基本計画(和歌山県伊都郡高野町) ② <a href="https://www.town.koya.wakayama.jp/img_data/2019/04/6b04babfaa3357dccc4ebf556988d3cc.pdf">https://www.town.koya.wakayama.jp/img_data/2019/04/6b04babfaa3357dccc4ebf556988d3cc.pdf</a> ・まち・ひと・しごと創生高野町総合戦略(和歌山県伊都郡高野町) ①、② <a href="https://www.town.koya.wakayama.jp/img_data/2016/03/d5f77baeb79ec0bfd6484d2766ea33fd.pdf">https://www.town.koya.wakayama.jp/img_data/2016/03/d5f77baeb79ec0bfd6484d2766ea33fd.pdf</a> ・白川村特定事業主行動計画(岐阜県大野郡白川村) ② <a href="http://shirakawa-go.org/uploads/tokuteikoudoukeikaku.pdf">http://shirakawa-go.org/uploads/tokuteikoudoukeikaku.pdf</a>	
<b>先行事例</b> ・農園の環境・土壌・水を含めた天然資源、生態系や生物多様性を守り、労働者の労働条件やその家族・地域社会を含めた教育・福祉などの厳しい基準を満たした農園に与えられる「レインフォレスト・アライアンス認証」を取得している <a href="https://www.rainforest-alliance.org/lang/ja/about/rainforest-alliance-certified-seal">https://www.rainforest-alliance.org/lang/ja/about/rainforest-alliance-certified-seal</a> ・地域の民間事業者によるUNWTO世界観光倫理憲章への賛約(署名を促している) <a href="https://unwto-ap.org/wp-content/uploads/2019/04/d7e74471587841019427e14df37d388-1.pdf">https://unwto-ap.org/wp-content/uploads/2019/04/d7e74471587841019427e14df37d388-1.pdf</a> ・季節限定的観光関連求人の割合を計測している ・等級制度の導入によるアルバイトの業務意欲向上(アパホテル等)	
<b>ネクストステップ</b> ・観光就業賃金給与水準(産業全体を100とした際の宿泊業、飲食サービス業における平均月間現金給与水準)を算出、公表している ・倫理規定違反や法令違反があった場合、当該事業者が、その原因と是正措置について説明責任を果たしている ・法令違反があった場合、当該事業者が、その原因と是正措置について説明責任を果たしている ・非正規雇用が正規雇用となるための支援を行っている	
<b>【観光分野における安定した雇用の実現に向けた調査項目例】</b> ・正規雇用者の割合 ・男性/女性の雇用割合 ・女性リーダーの割合 ・通年営業をしている事業所の割合 ・通年雇用者数と臨時雇用者数の割合	

◆ 日本の特性を各項目に反映した上で、GSTC※による観光地向けの持続可能な観光の国際基準「GSTC-D2.0 (GSTC Destination Criteria)」に準拠した指標として開発。

◆ 持続可能な観光地マネジメントを進める上でのガイドラインとして活用。ガイドラインに基づいた取組を進めることで、持続可能な観光地マネジメントを進めることが可能。

◆ Aマネジメント、B社会経済、C文化、D環境の4分野から構成。

※ グローバルサステナブルツーリズム協議会。Global Sustainable Tourism Council。

国連世界観光機関(UNWTO)、国連環境計画等の呼びかけにより持続可能な観光の共同理解を深めることを目的に活動する協議会。

## 日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）の効果

別紙



日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）への取組を示すロゴマーク

### ① 自己分析ツール

＝ 観光政策の決定、観光計画の策定に資するガイドラインとして活用

- ・ 地域の強み、課題、成長機会を客観的・定量的に把握可能。
- ・ 地域が目指す姿、取るべき施策が明確化。
- ・ 持続可能な観光の実現に向けた継続的なモニタリングの実践方法を学ぶ機会に。

### ② コミュニケーションツール

＝ 地域が一体となって持続可能な地域/観光地づくりに取り組む契機に

- ・ 行政・観光関係者・住民間における、持続可能な観光に関する理解の促進、合意形成の契機に。
- ・ 持続可能な観光の推進を担う人材育成や研修の機会に。

### ③ プロモーションツール

＝ 観光地としてのブランド化、国際競争力の向上

- ・ 持続可能な観光に取り組む地域として、優良な訪日客を呼び込むためのプロモーションが可能。
- ・ 国際的な認証機関による評価・表彰制度の活用によるブランド力の向上。

※ 世界の86%が「サステナブルな旅行を希望」、41%が「旅行中によりサステナブルな行動をとるためのアドバイスを旅行会社から得たい」と回答。（ブッキングドットコム「2019 Sustainable Travel Report」より）

＋ 日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）へ取り組んでいることを国際的にも示すことが可能なロゴマークが活用可能

# 日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)モデル事業について(案)

## 2021年度モデル事業概要

別紙

### 1. 目的

「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」の普及促進及び効果検証

### 2. 対象

地方公共団体、観光地域づくり法人(DMO) 等

※その他、都道府県単位、複数地方公共団体、地方公共団体内の一部地域のみでも可

### 3. 事業内容

モデル地区において、「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」を実際に活用しその効果検証を行う。また、検証結果を踏まえ、今後のより良い運用体制(研修の方向性、取組体制等)及び普及方法を検討する。具体的な事業内容については以下事項等を予定。

- 持続可能な観光及びガイドラインに関する理解促進のためのトレーニングプログラムの実施
- 観光庁が指定するアドバイザーの派遣
- 「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」に基づく観光地プロフィールの作成
- 国際的な認証機関による評価・表彰制度へのエントリー
- 「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」のアセスメントレポートの作成 等

## モデル地区になるメリット

- ★ 他地域に先駆けて持続可能な観光への取組を開始可能
- ★ 通常は有料であるGSTCトレーニングプログラムの開催・受講について支援
- ★ 持続可能な観光への取組を推進するためのアドバイザーの派遣
- ★ 国際的な認証機関による評価・表彰制度へのエントリー、表彰の獲得に向けた取組のバックアップ

# 日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)モデル事業について(案)

別紙

## モデル地区における実証事業の進め方

モデル地区決定後、観光庁より派遣するアドバイザーのもと以下の手順で進める。

### Step1 ガイドラインの役割及び内容の理解（４月～５月）

1. オリエンテーション	本事業の目的・概要・モデル地区の役割・スケジュール等の説明、調整
2. GSTCトレーニングプログラム（３日間）	GSTC公認トレーニングプログラムによる、ガイドラインへの理解促進と取組に向けた研修の実施

### Step2 ガイドラインに基づく地域の分析・評価（エビデンスの収集、分析、認証制度への挑戦等の取組の実施）（５月～９月）

1. 地域におけるガイドラインの取組体制の確立	地域のステークホルダー※で構成されるワーキンググループ（WG）の設置・開催（地域によっては既存の組織で可） データやエビデンスの収集・分析 ※行政、観光関係者、地域コミュニティ、大学・研究機関等
2. 観光地プロフィールの作成	ガイドラインによる分析を踏まえた観光地プロフィールの作成 （観光庁より提供する定型フォームに入力）
3. 表彰制度への申請支援	国際的な認証機関による評価・表彰制度※へのエントリー支援 ※Green Destinations「Top100選」等のGSTC認証機関による認証制度

### Step3 まとめ・報告、今後の方針決定（９月～２月）

1. 課題抽出と改善に向けた方針決定	WG等において分析結果、観光地プロフィールに基づき、課題と今後の対応策について議論、方針の決定
2. 継続的なモニタリング体制の検討・観光地計画への反映	アセスメントレポートを作成し、自己分析を深化させた上で、継続的なモニタリングのための体制の検討 観光地計画の策定・改定（必要に応じて）
3. モデル事業についてのフィードバック（観光庁へ報告）	モデル事業全体を通じたガイドラインへの取組に関する課題や提案等

※ 上記実施時期はあくまで一例

日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）のロゴマーク申請



# 日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)モデル事業について(案)

## <参考> モデル事業の流れ

※ 下記スケジュールはあくまで一例

別紙

